

プログラム

第3回アジア環境人材育成研究交流大会 「持続可能な社会に向けたアジアの大学教育最前線」

日時：1日目 2013年12月13日（金）10:00～17:30

2日目 2013年12月14日（土）10:00～18:15

場所：TFTビル 東館9階 904, 902, 901 会議室

主催：環境人材育成コンソーシアム（EcoLeaD）

一般財団法人 持続性推進機構（IPSuS）

後援：環境省

アジア太平洋環境大学院ネットワーク（ProSPER.Net）

※プログラムは変更になる場合があります

1日目：12月13日（金）10:00～17:30

日時	904 会議室	902 会議室	901 会議室
10:00～12:00	オープニングセッション		
12:00～13:00	休憩		
13:00～15:00		セッションA	セッションB
15:00～15:15	休憩		
15:15～17:30		セッションC	セッションD
17:30～18:00			
18:00～19:00	懇親会（別会場）		

2日目：12月14日（土）10:00～18:15

日時	904 会議室	902 会議室	901 会議室
10:00～12:45	国際シンポジウム第1部		
12:45～13:45	休憩		
13:45～15:45	国際シンポジウム第2部		
15:45～16:00	休憩		
16:00～18:00		セッションE	セッションA
18:00～18:15		クロージングセッション	

プログラム【大会 第1日目 12/13（金）】

■オープニングセッション（904 会議室）（10:00～12:00）

開会挨拶：安井 至 氏（環境人材育成コンソーシアム（EcoLeaD）代表幹事）

講演：環境省における環境教育の取組について

－上田 康治 氏（環境省総合環境政策局総務課長）

講演：地域や企業と連携した大学における環境人材の育成について

－里見 朋香 氏（文部科学省高等教育局大学振興課長）

EcoLeaD 事業紹介：環境人材育成推進に向けての EcoLeaD の取組

－EcoLeaD 事務局

■事例・研究発表セッション I (13:00～15:00)

セッションA(902 会議室): 企業の環境取り組みと産学官民協働による取組事例 等

● 座長：石野 耕也 氏（中央大学法科大学院教授）

① 「アジア都市の低炭素化への戦略と環境人材育成」

松下 和夫 氏（京都大学名誉教授、公益財団法人地球環境戦略研究機関グリーン
経済領域シニアフェロー）

② 「持続可能な地域に向けて～信州大学の社会起業家育成の取組み」

樋口 一清 氏（信州大学名誉教授、法政大学大学院政策創造研究科教授）

③ 「大正大学・豊島区連携による低炭素教育の実践」

高橋 正弘 氏（大正大学人間学研究科社会福祉学専攻准教授）

④ 「大丸有（だいまるゆう）地区における環境共生型まちづくり」

村上 孝憲 氏（三菱地所株式会社都市計画事業室副室長）

⑤ 「サンデンフォレスト・赤城事業所における環境教育の実践」

斉藤 好弘 氏（サンデン株式会社環境推進本部主席）

⑥ パネルディスカッション（参加者との質疑応答、討論を含む）

大学における環境人材育成や環境教育を考える時、その教育内容や教育結果が必ずしも社会（企業）から十分に評価されない（就職に役立たない）との意見があります。企業が大学の環境教育に望むこと、逆に大学が企業に望むこと、さらには環境人材育成や環境教育における産学官民の連携・協働のあり方について、発表を踏まえ議論します。

セッションB(901 会議室): 国際的教育プログラム、海外フィールドワーク事例 等

● 座長：一方井 誠治 氏（武蔵野大学環境学部環境学科教授）

① 「京都大学 EML（環境マネジメントリーダー）プログラムの成果と今後の展開」

藤枝 絢子 氏（京都大学地球環境学助教授）

② 「ネパールにおける環境問題解決型学習の教育的意義：

九州大学「東アジア環境プロジェクト演習」

中村 寛樹 氏（九州大学東アジア環境研究機構学術研究員）

③ 「信州大学若里キャンパスにおける環境人材育成への取組み

ーグリーン MOT 教育プログラムと GMP との連携に至るまでー」

並木 光行 氏（信州大学工学部教授）

④ 「日中韓学生交流環境フォーラム」

吉川 成美 氏（科学技術振興機構社会技術開発センターアソシエートフェロー）

⑤ 「ESD プログラムからの学び」

武中 桂 氏（神戸女学院大学特任助教）

⑥ パネルディスカッション（参加者との質疑応答、討論を含む）

環境人材の育成のためには、座学での知識習得だけではなく、「環境問題を自ら感じ取れる、考えられる、行動できる」ことが重要であるとともに、「多様な価値観」があることも理解することが必要である。また、日本の経験や実績を海外に伝えていくことも求められている。アジア等を視野に入れた環境人材育成のあり方、体験型教育のあり方等について、発表を踏まえ議論します。

■事例・研究発表セッションⅡ(15:15～17:30)

セッションC(902 会議室): 環境人材育成・環境教育プログラムの成果と将来展望1

- 座長：樋口 一清 氏（信州大学名誉教授、法政大学大学院政策創造研究科教授）
- ① 「ICU 環境研究のダイナミズム～学びからアクションへ アクティブラーニングの実践」
布柴 達男 氏（国際基督教大学教養学部教授）
- ② 「武蔵野大学環境学部の人材育成」
一方井 誠治 氏（武蔵野大学環境学部環境学科教授）
- ③ 「“Day-see プログラム ラオス ODOP プロジェクト”」
妹尾 めぐみ 氏（多摩美術大学テキスタイル研究室助手）
- ④ 「環境人材育成の新展開：実践型科目の推進と国際化」
佐藤 圭輔 氏（立命館大学理工学部講師）
- ⑤ 「世界一の環境先進大学」の三重大学ブランドの持続発展（ESD）教育」
朴 恵淑 氏（三重大学人文学部理事・副学長）
- ⑥ パネルディスカッション（参加者との質疑応答、討論を含む）

現在、我が国の大学においては多様な、特色のある環境人材育成の取組、環境教育の取組が行われている。しかし、知識の習得だけでなく、スキルや態度をどのように養うのか、体験型教育をどのように行ったら良いのか等、様々な課題も抱えている。環境人材育成、環境教育のあり方について、各大学の実践、経験、ノウハウ、さらには課題を共有しつつ議論します。

セッションD(901 会議室): 環境人材育成・環境教育プログラムの成果と将来展望2

- 座長：松下 和夫 氏（京都大学名誉教授、公益財団法人地球環境戦略研究機関
グリーン経済領域シニアフェロー）
- ① 「大阪府立大学における環境人材育成の取組－受講生の感想から見た今後の展望－」
北田 博昭 氏（大阪府立大学総務部総合戦略課参与）
- ② 「サステイナビリティ学教育の展望：茨城大学の挑戦」
田村 誠 氏（茨城大学地球変動適応科学研究機関准教授）
- ③ 「金沢大学における ESD 推進に向けた取組」
鈴木 克徳 氏（金沢大学環境保全センターセンター長・教授）
- ④ 「水俣に学ぶ：ASEAN 学生とのフィールドワーク」
行木 美弥 氏（慶應義塾大学環境情報学部准教授）
- ⑤ パネルディスカッション（参加者との質疑応答、討論を含む）

現在、我が国の大学においては多様な、特色のある環境人材育成の取組、環境教育の取組が行われている。しかし、知識の習得だけでなく、スキルや態度をどのように養うのか、体験型教育をどのように行ったら良いのか等、様々な課題も抱えている。環境人材育成、環境教育のあり方について、各大学の実践、経験、ノウハウ、さらには課題を共有しつつ議論します。

※セッションC及びDは、同一のテーマで開催します。それぞれのセッションにおける討議結果は、交流懇親会及びクロージングセッションにおいて共有します。

■交流懇親会(18:00~19:00)

会場：ホテルサンルート有明 2F 「創菜 Patio」

プログラム【大会 第2日目 12/14(土)】

■国際シンポジウム第1部(904会議室)(10:00~12:45)※同時通訳付き

- ① 基調講演：「地球の持続可能性と地域の持続可能性 / Global Sustainability and Local Sustainability」
安井 至 氏（独立行政法人製品評価技術基盤機構理事長、東京大学名誉教授、国際連合大学名誉副学長、EcoLeaD 代表幹事）
- ② 基調講演：「社会設計で築くより良い世界- 工学的素養を有する 21 世紀型リーダーとイノベーターの育成 / A Better World by Design – Educating Technically- Grounded leaders and innovators for the 21st Century」
チョン・トウ・チョン 氏（シンガポール科技設計大学学長） / Prof. Chong Tow Chong（Provost, University of Singapore Technology and Design）
- ③ パネルディスカッション：
「環境人材、環境リーダー育成の課題は何か、その課題解決の鍵は何か」
安井 至 氏
チョン・トウ・チョン 氏
竹本 和彦 氏（国際連合大学高等研究所プログラム・ディレクター）
環境制約があり、持続可能な社会の構築（社会経済システムの変革）が急務の課題であるという前提の上、一方で“物質的豊かさの追求、GDP の世界的拡大”が続いている状況を踏まえ、環境人材、環境リーダー育成の課題、その課題解決の鍵について議論します。

■国際シンポジウム第2部(904会議室)(13:45~15:45)※同時通訳付き

- コーディネーター：味埜 俊 氏（東京大学大学院新領域創成科学研究科教授）
- ① 「高等教育におけるサステナビリティの実現に向けて：オーストラリアにおける模範例の紹介 / Leading for sustainability in higher education: Exemplars from Australian contexts」
スー・エリオット 氏（ニューイングランド大学教育学部教授、オーストラリア環境教育学会副会長） / Dr. Sue Elliott（Senior Lecturer, School of Education, University of New England, Vice President, Australian Association for Environmental Education Inc. (AAEE)）
- ② 「サステナビリティリーダーの育成 / Shaping ‘Sustainability’ Leaders」
アウレア・クリスティン・タナカ 氏（国際連合大学高等研究所 ESD プログラムリサーチアソシエイト） / Dr. Aurea Christine Tanaka（Research Associate, Education for Sustainable Development Programme, United Nations University Institute of Advanced Studies（UNU-IAS））

- ③「環境リーダーシップの養成と今後のあり方:AKEPTとUSMでの経験の共有 /Leading Change for Environmental Leadership and Beyond: Sharing the Experiences of AKEPT and USM」

ザイナル・アビディン・サヌシ 氏 (マレーシア高等教育省高等教育リーダーシップアカデミー副所長) / Dr. Zainal Abidin Sanusi (Deputy Director, Centre for Leadership Training (CELTRA), Higher Education Leadership Academy, Ministry of Higher Education, Malaysia)

- ④パネルディスカッション:「環境人材、環境リーダー育成の方策」

ご発表いただいたアジア・太平洋地域の大学における具体的な事例や個別の教育の取組事例をもとに、持続可能な社会を構築するために、今後の高等教育機関における環境人材育成はどうあるべきか、その実質的な方策について議論します。

■事例・研究発表セッションⅢ(16:00~18:00)

セッションE(902 会議室):産学民における多様な人材育成取組と連携の可能性

- 座長:森下 研 (一般財団法人持続性推進機構専務理事、EcoLeaD 幹事)

- ①「高大連携における地域協働教育プログラム」

石筒 覚 氏 (高知大学総合科学系地域協働教育学部門准教授)

- ②「持続可能な社会・環境・地域のために行動できる“人づくり” - 伊藤園を例として」

笹谷 秀光 氏 (株式会社伊藤園取締役 CSR 推進部長)

- ③「環境リーダー育成 民間企業との連携と将来的可能性」

小林 正典 氏 (横浜国立大学大学院環境情報研究院特任准教授)

- ④「環境リーダープログラムの新たな展開:たおやかな平和社会共生プログラム」

金子 慎治 氏 (広島大学大学院国際協力研究科教授)

- ⑤「“東京大学サステナビリティ学グローバルリーダー養成大学院プログラム”における教育の理念と実践」

味埜 俊 氏 (東京大学大学院 新領域創成科学研究科教授)

- ⑥ パネルディスカッション (参加者との質疑応答、討論を含む)

第1日目の討議結果も踏まえ、今後の環境人材育成のあり方、産学官民の連携・協働のあり方、様々な課題への対応方策、留意点等について多角的に議論します。

セッションF (901 会議室):環境を学ぶ学生環境活動と研究発表 等

- 座長:中川 光弘 氏 (茨城大学農学部教授)

- ①「エコ・リーグでの国際環境リーダーの育成事例」

北橋 みどり 氏 (NPO 法人エコ・リーグ国際チーム)

- ②「ASEAN+3 ユース環境フォーラム 2013 成果報告

—持続可能なアジアの発展に向けた各国ユースの活動—

小竹 舞 氏 (慶應義塾大学環境情報学部・環境情報学科、NPO 法人エコ・リーグ Campus Climate Challenge 実行委員会)

- ③「農薬汚染管理と農業貿易 / Pesticides Pollution Management and Agricultural Trade」

レイ・ドウ 氏 (東京農工大学大学院) / Lei Dou (Ph.D. Student, United Graduate

School of Agricultural Science, Tokyo University of Agriculture and Technology)

- ④「現代的文脈に適応する方言文化の保全-ベトナムドン地区トゥアティエンフエ省、カトゥ伝統のコミュニティハウスにおける事例研究 / Conserving vernacular culture to adapt to contemporary context - A case study on Katu traditional community house in Nam Dong District, Thua Thien Hue Province, Vietnam」

チュオン・ホアン・フォン 氏 (京都大学大学院) / Truong Hoang Phuong (Ph.D. Student, Graduate School of Global Environmental Studies, Kyoto University, Japan Department of Environmental Management)

- ⑤「中央アジアの田園地帯における気候変動への復元力の視点からみる水-エネルギー-食物の結びつき / The water-energy-food nexus in the light of climate change resilience in selected areas of rural Central Asia」

スピーゲルバーグ・マクシミリアン 氏 (京都大学大学院) / Spiegelberg Maximilian (Ph.D. Student, Kyoto University, Lab of Sustainable Rural Development)

■クロージングセッション(902 会議室)(18:00~18:15)

- ①各セッションの発表、討議内容の概要報告
- ②閉会挨拶